埼玉立命

立命館大学校友会埼玉県支部機関誌

第9号　THE SAITAMA RITS
1998年（平成10年）6月21日発行
発行所●立命館大学校友会
埼玉県支部
編集人●「埼玉立命」広報委員会
発行人●松田浩章
事務局●〒343-0023
埼玉県越谷市東越谷9-53
埼玉司法ビル内
☎ 0489（63）2108
FAX 0489（64）7521

歓びあふれる輪をひろげ

松田浩章
埼玉県支部長

日頃は校友会の発展のために格別のご尽力を賜り、心よりお礼申しあげます。埼玉県支部も創立九年目。支部結成五十年を超える大阪支部、昨年に産声をあげた全国で最後の校友会群馬県支部などの中で、わが埼玉県支部も、ようやく中堅の位置付けの確立の時期にきています。

おりしも母校は、創立百周年を迎えようとしています。昭和初期卒から平成十年卒と年代層の幅の広さ、各界に拡がる業種の違い、またさまざまな思想の違いにより、校友会への思い、その参画の方法が異なるのは当然だと思います。

人生道中で"立命館学園"で学び、智を得て、友を得て、青春を謳歌した貴重な体験。それは何ものにもかえがたいことであります。こうした共有の思いを大切にすることが、種々の垣根を超えて、校友会活動に参画していただけるものではないか。

今日の経済危機、政治不信、迫り来る環境汚染、高齢化への対応無策など深刻な様相を呈しています。ますます窮屈で、心のゆとりさえ失われつつあります。こうした時期だからこそ、各自がポケットに大切にしまっていた「思い出」や「夢」を今一度取り出し、持ってきてください。きっと同じ思いの校友に会えるでしょう。懐かしい話題に花を咲かせるも素晴らしきもの。校友会についてのご意見。母校へのご提言。近代年卒の方々のビジョンもどんどん聞かせていただきたい。歓びあふれる輪をひろげていきましょう。

これからの学校教育は、真の人材育成だといわれています。校友会のあり方も、人と人との和の連鎖に務めるところにあるのではないでしょうか。埼玉県支部へのご理解とご協力をお願いいたします。

第九回総会と懇親パーティのご案内

ご健勝のことと存じます。

一九九八年度第九回総会ならびに懇親会を、左記のとおり開催いたします。何卒ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

●総会
日時　七月二十日（祭日）
午後三時（受付二時三〇分）
場所　ホテルアルーサ清水園
与野市上落合二-三-二
☎〇四八（八五五）二三二二
（埼京線北与野駅前）

議題
一、一九九七年度事業報告
一、一九九七年度歳出歳入報告
一、一九九八年度事業計画
一、一九九八年度歳入歳出予算案、その他

●懇親会
日時　同日午後四時一〇分～
場所　ホテルアルーサ清水園
特別演奏　野村深山（木三味線）
"津軽じょんがら"他
会費　一万円
（家族五千円）

有楽法律会計事務所
弁護士・税理士
西垣　義明（昭40法）

㈲マツダエンジニアリング
代表取締役
松田浩章
（昭32理卒）

南部ブロック

見沼の桜と歴史散策

鈴木　昌治（昭52経営）

満開の桜に浮かれ

春うらら。淡い緑に満開の桜。四月五日の日曜日に、南部ブロック有志は、埼玉の歴史探索とお花見宴会を兼ねて、東浦和駅から東川口駅近くまでをハイキングしました。主な散策コースは、大間木氷川神社、清泰寺、見沼代用水西縁、見沼通船堀、木曽呂の富士塚、園芸センター街、西福寺などです。

当日の参加メンバーは廣兼雅彦（昭40理工）、野村健丈（昭57法）及び奥様、山本孟人（昭35経済）、豊岡雅範（昭44経営）、太田八郎（昭30理工）、清水直子（昭63産社）、大熊章一（昭52産社）等の各氏。

桜も満開で和気あいあいと（西福寺境内で）

地元の深い歴史を

地元の蕨出身の大熊さんならではの親切な案内と詳しい説明により、埼玉県（旧武蔵国）での氷川信仰の分布と特徴、神殿建築の様式と特徴、赤山街道の役割、見沼新田開発の苦難の歴史、通船堀の仕組み、庚申塔のいわれ、西福寺の三重塔の構造などについて学ぶことができ、参加者一同、大いに感動。有意義な一日でした。特に今回のハイキングは、埼玉県外の出身である私にとって、すでに十年以上も住んでいる「地元」を正しく理解し、見直すうえで大変良い機会でした。なかでも、見沼通船堀の仕組みがパナマ運河の構造とほぼ同じであったこと、武田信玄の娘が徳川家康の庇護を受けて二代将軍秀忠の子供の養育に当たっていたこと（清泰寺の見性院の墓）、中山道や日光道中の他に日光東照宮を将軍が参詣するための日光御成道があったことなどは、高校時代に歴史が好きだった私にとっては驚きでした。

お昼ご飯は、見沼の満開の桜の下で、大熊さんが用意してくれたビールを飲みながら大いに盛り上がりましたが、主な話題は、金融機関の破綻と大蔵省の汚職というものでしたから、これもご時勢でしょうか。

春の柔らかな陽光を浴びて、久しぶりにゆったりとした満足な一日でした。

次の秋の歴史散歩は、鳩ヶ谷に宿場町の面影を訪ねます。秩父散策も予定しています。

野村深山の木三味線も

七月二十日（祭日）の総会・懇親会

七月二十日（祭日）は、校友会埼玉県支部の総会と懇親パーティです。場所は、目下"さいたま新都心"の着工で湧く埼京線・北与野駅前のホテルアルーサ清水園。校友会の輪は年々、確実に広がり、充実してきています。

じょんがら節の野村深山さん

現在、埼玉県支部の校友は約二千三百名。縁あって"彩の国"に居住し、いつも熱くひたぶるのは各自が大切に秘めた「赤き血潮」です。

当日は大学の来賓挨拶、それにつづく楽しい懇親パーティ。

特別演奏に、野村深山さんの"木三味線"。「津軽じょんがら」など、赤い鼻緒の雪駄履き、三味線一丁、全国的に活躍する深山節は、多くのファンを魅了しています。ぜひ、出席しましょう。

公認会計士
鈴木昌治
（昭52経営）
監査法人トーマツ　代表社員

秩父札所　9番観音堂休憩所　34番讃仏堂施工
県内の文化財の屋根修理工事を多く手掛けています。
― 神社・仏閣　銅屋根工事　施工 ―
㈲大熊板金　専務取締役　一級技能士
大熊　章一（昭52産社）

中央ブロック

マレー半島を訊ねて

山本雅信（昭35経）

観光地めぐりに夢中

初の海外旅行を決行。目的地はクアラルンプールとシンガポール。昨年九月二十六日から四泊五日の旅。といって大袈裟に構えたわけではない。定年を迎え「暇になったから…」という話から始まった。言い出しっぺは山本雅信。「ついでに幹事も頼むよ」と、松田浩章支部長。山本幹事の努力で格安。北海道旅行より安いのが魅力であった。

だれかが「夫婦同行で」といったものの、そこはそれなりに。ちなみに同行は松田浩章、安藤善朗に竹内令の三夫妻。「奥さんへのいたわりは立派」と、最年長らしい三沢基之のお言葉でありました。

最初の落ち着き先は、クアラルンプール。おりしも、アジアは金融危機。経済の沈滞で重苦しい旅になるかもと心配したが、われわれツアーは観光地めぐりに夢中、目はキョロキョロ、ただただハシャグだけ。国家記念塔（平和記念塔）をバックに、まずは記念写真。共産主義テロによるマレーシアの危機に、勇敢に戦って死んだ男女七人のブロンズ像は迫力があった。

平和記念塔で（クアラルンプール）

そして、マレー料理の昼食。テーブルを囲んで、あれ？　一人いない！　松田夫妻が行方不明。最初のアクシデントである。

何てことはない、夫妻は街並みの撮影に熱中していたよ。「みんな冷たい！」（松田）「お父さんしっかりしてよ」（松田夫人）

テレマカシー、わが友よ

イスラム寺院では綺麗な女性の回教徒にお願いして記念撮影。その中に回教徒に見せかけた、怪しげな二人の日本人女性も加わった。

最古の都市、マラッカ海峡を望む港街・マラッカは印象に残った。かつては海洋貿易都市として栄えた街で、コロニア風の建物など、当時の面影を残しているが、しかし風化した街であった。歴史の変遷を感じながら旅の良さをひしひしと味わった。

翌日、クアラルンプールからシンガポールへ国際列車での移動。出発前「鉄道の旅がなければ参加しない」と、わがままを言っていたのが竹内。座席指定で、のんびりと景色を眺めながらの鉄道の旅は、船旅とともにいい。この間、好奇心旺盛な竹内夫妻は食堂車へ。ところが開店休業、それでもコーヒーだけ無理やりお願いした。テレマカシー（ありがとう）。

マレーシア最南端のジョホールバール駅、突然、大勢の客が乗り込んで来た。食堂車から帰った竹内夫妻の席がない。彼らは譲る気配が微塵もない。松田支部長も人がいい。子どもづれの家族に譲って立ちん坊。

夜の屋台に気炎あげ

シンガポールは「東京に似て魅力がなかった」と感想を漏らした山本だが、地下鉄で出かけた夜の屋台は現地の、ごく平凡な生活に触れた思いで、三沢、山本のトーンがひときわ上がった。

安藤夫妻の明るくてひょうきんな話っぷり。いつまでも青年のように若い三沢先輩など、仲間の新しい発見もあった。

山本はESSで鍛えた英語で現地人に話しかけていた。ハイ、立派に通じたことを、念のためご報告致します。

松田夫人「また海外旅行しましょうよ」

神秘なイスラム神院で（マレーシア）

年明けて、四月五日、好天のなかで花見。児玉秀生夫妻と田中和義が料理係りでフル回転。お世話になりました。

株式会社 関電工
電力本部　送電線部
副部長　施工担当
坂東　靖夫（昭44理工）

株式会社 東芝
総合営業部
文教担当　担当部長
常田　幸正（昭36文）

東部ブロック

全国校友大会への旅

椛島　康夫（昭44経）

広大なBKCに感動

昨年十月八日、久方ぶりの京都への旅である。胸の高鳴りをおぼえ、東京駅を出発し新幹線が琵琶湖畔を走り抜ける頃、学生時代のいろいろなことに思いを巡らしていた。目指すのは、新キャンパス「BKC」だ。

南草津駅はわが，立命，のために出来たとの由。駅前は空き地が多く、あちこちから道路や住宅建設の槌音が聞こえてくる。その中を大学への直行便のバスに乗り、BKCに着いた。それぞれ青春時代を過ごした広小路や衣笠キャンパスとは違い、これがわが母校かと見紛うほどの広大なる空間が広がっている。

つまり、このびわこ・くさつキャンパスには、これまでの理学部に加え、経済・経営両学部が移転。日本のCOE（センター・オブ・エクセレンス）の道を着実に歩んでいるのだといわれている。21世紀に向かう価値観の多様な時代、グローバルな視野にもとづく高度な情報関連の教育研究としても、これから大いに注目されよう。

同行メンバーは芸術家の田中明（昭33経）、会社オーナーの河本好令（昭37法）、中国語の達人の中上昌彦（昭38経）、商社マンの野口良信（昭43経）さんらと、夢多きロマンチストこと、小生、椛島の五名の個性豊かな珍道中であります。

BKC・メディアセンターで

タイムスリップの思い

現役理工学部4回生の後輩が、ウエスタンウイングとか、横文字ばかりの校舎を案内してくれる。まだ工事中のところは98年春から経済・経営両学部移転に伴うもので、急ピッチで進められている。懐かしい土曜講座が開かれている教室をガラス越しに覗く。入り口でレジメをもらう。「滋賀の歴史と文化」とか。

キャンパスに乗り入れの路線バスとは違うバスが、何台もクインスタジアムのそばに停車している。どうやら、BKC見学者用（校友・受験者・全国大学関係者）らしい。大学が休みの土曜日には、附属高校の立命館宇治高校の授業を行っているらしく、英語の授業だろう外人教師が盛んに教えているのが目に飛び込んできた。

昼になり、学生食堂に入り、何十年ぶりかで学食を食べた。購入レシートには、何とカロリー計算までしてあるではないか。われらお腹の大きくなった中年族には助かるのかな？かくして、五人衆、それぞれ学生時代にタイムスリップした時が流れ、BKCを後にした。

”立命健児は歌います“

蹴上の都ホテルは校友の顔々で一杯だった。盛大な全国校友の総会パーティ。ここで、松田支部長と合流。われわれが着席するや、何とその同じ円卓にかの故末川名誉総長の御子息で文学部教授末川清先生。しばし、名刺交換やら、昔話やら、写真撮影やら忙しいことになった。ふと、末川先生の教えを想い出す。

「理想は高く　姿勢は低く……」

大南総長や川本理事長、そして河原校友会長の「世界の大学を目指す立命館」の近況報告の後、校友のばんばひろふみさん（歌手）の歌が流れる。自作の母校カレッジソングの披露と、校歌「赤き血潮」の大合唱に母校への思いに胸を熱くした。そして、母校に栄えあれと都ホテルを後に、夜の帳の降りた京の都へと繰り出した。ネオン街のあちこちに、同じ手提げ袋の一団が行ったり来たり。今夜ばかりは、あの店この店でも〈立ちゃん〉の貸し切りで、もてもてだったことだろう。

東　加茂川　比叡山
西は愛宕に　桂川
立命健児は　歌います
色は黒いが　いい男

総会パーティも華々しく（都ホテル）

大日本インキ化学工業 株式会社
タック事業部
東京タック第一営業部　部長
椛島　康夫（昭44経）

東京材料 株式会社
業務部　次長
中上　昌彦（昭38経済）

西部ブロック

ゴルフ会で談論風発に

小林俊之（昭39法）

気のおけない人たちと

埼玉県支部では「武蔵野立命会」というゴルフの親睦会がありますが、さらにゴルフ好きの西部ブロックを中心とした「立命埼西会」があります。いずれも年二回、気のおけない人たちが集まって楽しんでいます。

第11回の大会は、平成九年五月十六日、近年オープンしたレイクウッド「富岡コース」で行われました。出席は仕事の都合や、体調の加減で十名といつもに比べやや淋しかったのですが、雨上がりの五月晴れ、萌える芝の上で談論風発、大いに楽しみました。

参加メンバーは、岡島由雄・松田浩章・土井孝穂・清水治道・小崎啓・横田高弘・今川博文・伊藤貞夫・国松晃雄・小林俊之（順不同）の各氏。ハンディに恵まれて、優勝は私小林、久しぶりにカップを手にしました。

「立命埼西会」は平成四年七月第一回を開催。毎年春秋の二回コンペ、お好きな方はぜひ参加してください。

これからも、親交を深める場になるようにと念じています。

懇親会も和気あいあい

また、西部地区の懇親会は五月三十日、川越の割烹〝福富美〟で久方に開催。出席者四十五名。新任なったブロック長の常田幸正氏を柱に、今後の西部地区の活動のあり方などが論じられ、和気あいあいのひとときを過ごしました。西武沿線、東上沿線に在住の校友は約七百四十名。もっと幅広い交流ができるよう、心合わせ、力合わせしていくようにと乾盃。楽しく、力強い一日でした。

“赤き血潮”に湧き、新たな交流をと

新年会は盛大に

恒例の新年会は一月十七日、浦和駅前の割烹〝ふか川〟で開催。出席者三十七名、厳しい景況感もものかは、楽しいひとときを。大広間の中に、それぞれの輪ができて、「この一年も活発に」（松田支部長）。「埼玉支部も新たな転機の年だとして、より充実を図っていきたい」（西垣幹事長）。

それぞれの思いも清々しい新年会だった。

武蔵野立命会は溌剌と

「武蔵野立命会」第15回大会は、三月五日、浦和ゴルフクラブにおいて、十六名の参加により開催された。当日は雨、雪も心配されたが、ほんの小雨程度で各自のプレーにも拍車がかかった。

成績は次のとおり。優勝・常田幸正（昭36文＝連続優勝）、準優勝・今川博文（昭48理工）、3位・清原美保（昭58産社）。他参加者は、野口良信（昭46経済）、竹内令（昭33文）、下野均（昭34理工）、松田浩章（昭32理工）、中上昌彦（昭38経営）、清水幸一（昭36経済）、太田八郎（昭30理工）、安藤善朗（昭33経済）、小林俊之（昭39法）、小崎啓（昭45理工）、太田担（昭45理工）、山本雅信（昭35経済）、小玉秀生（昭43文）。

次回は九月十日開催予定。

●随想

花日和

永倉素子（昭38法）

花に縁がある。去年の三月には房総の千倉から、早めに爛漫の春が届けられた。家中の花びんでは足りず、バケツ、鍋まで動員してのぜいたくな花見となった。

七月、誕生日に夫がカサブランカを中心に誕生花の百合の大きな花束をくれた。珍しいこともあるもんだと、つい「多すぎて、香りにむせかえりそう」と言ったばかりに、険悪なムードになってしまった。

十月、自分の生涯のうちで、もらえる花は全部もらってしまったのでは、と思う程の花束を記念コンサートでいただいた。時間と共に、しおれるのがもったいなくて写真に撮って、ドライフラワーにもした。

十二月、外壁の塗装できれいになったベランダに、パンジー、ノースポール（ディジーのような白い花）ハーブ類を寄せ植えにした。

そして今春、窓辺に額をくっつけるようにして、咲きはじめた花を眺める朝のひとと。少々肌寒くても、ガラス戸を開け放して眺めているので、家人には評判が悪いけど、ヒーリング、セラピーの役割を十分に果たしている花たち。

房総の花の送り主は、立命同窓のミステリー作家の奥様である。気持ちがピュアで、美しいものをたくさんいただいた気がしている。

理由もなく、やけにうっとおしかったりする日々のこだわりを、花は無言で、ひそやかに包みこむように解き放してくれる。

今年は、桜の花を拾って押し花にした。切れめの入った五弁の小さな白い花びらは、手にとると、見たときより一層、愛しさがます。ベランダの花たちは今が花ざかり。ハーブも青々と薫りたかく、アロマセラピーの恩恵にあずかっている。しばらくは、柔らかな心で、花を眺める最上のひとときが過ごせそうである。

貸借対照表

平成10年3月31日現在　（単位：円）

（流動資産）		（流動負債）	
現金	19,982	短期借入金	41,621
普通預金	271,040	（資本の部）	
郵便預金	384,730	剰余金	644,131
仮払金	10,000	（内当期損失）	（▲199,255）
合計	685,752	合計	685,752

平成9年度収支計算書

平成9年4月1日～平成10年3月31日

（支出の部）		（収入の部）	
定期総会・会場費	785,599	会費収入	477,000
印刷・通信費	492,222	定期総会・会費収入	495,000
交際費	80,000	寄付金収入	220,000
その他経費	54,465	広告収入	15,000
当期損失金	▲199,255	利息・雑収入	6,031
合計	1,213,031	合計	1,213,031

会計監事：道脇久義

平成10年度収支予算書・予実表

平成10年4月1日～平成11年3月31日

（支出の部）	前年度予算	前年度実績	本年度予算	（収入の部）	前年度予算	前年度実績	本年度予算
定期総会費用	680,000	785,599	800,000	前期繰越	843,386	843,386	644,131
印刷・通信費	700,000	492,222	500,000	会費収入	600,000	477,000	600,000
交際費・寄付金	200,000	80,000	100,000	広告収入	100,000	15,000	50,000
幹事会会場費	100,000	43,800	70,000	寄付金収入	240,000	220,000	240,000
雑費	50,000	10,665	50,000	利息収入	0	436	1,000
予備費	0	0	0	その他収入	50,000	5,595	10,000
次期繰越	903,386	644,131	825,131	総会・会費収入	800,000	495,000	800,000
合計	2,633,386	2,056,417	2,345,131	合計	2,633,386	2,056,417	2,345,131

事務局から

同封ハガキの投函を

総会・懇親パーティご出欠のハガキを同封しました。アンケートには、校友会に関する忌憚のないご意見など、あなたの生まのメッセージをお聞かせください。

五十円切手貼り付けの上、どうぞ、ご協力のほどお願いします。

幹事会は月例で活発に

幹事会は月例ベースで、ホテルアルーサ清水園で行われています。

現実的な支部活動に沿った会則も、柔軟に検討・審議が重ねられました。大学の校友会会則との整合性、また現在の支部運営の実態の反映、会則遵守の簡易性・機動性について論じられ、改正案がまとめられました。

また、埼玉県支部校友約二千名の名簿リストも作成。ご希望者には頒布いたします。

支部会費の納入を

より充実した意義ある支部活動の円滑化のために、年会費の納入をよろしくお願いします（もちろんこれは、終身会費未納の方のことです）。年会費は三千円です。

年会費による校友活動や、その歳入・歳出状況など、ご不明なことは何でもお尋ねください。

ブロック別の拠点に

埼玉県支部は広域にわたっているため、四ブロックに分割し、それぞれ担当のブロック長が任じられています。活動の拠点として、お気軽にご連絡ください。

●西部ブロック長
常田幸正（所沢市）

●東部ブロック長
中上昌彦（岩槻市）

●南部ブロック長
鈴木昌治（川口市）

●中央ブロック長
松田浩章（上尾市）

編集後記

政府の総合経済対策決定にもかかわらず、深刻な景気後退に、ますます不透明な世紀末。しかし、年々歳々、花咲き、風香り、樹々は緑に眩しく炎えあがる。校友諸兄姉――今こそ肩の力を抜き、軽やかな遊びと豊熟のひとときを。ほんとうの生活と、歓びあふれる交流を。今号もいきいきした充実の六面構成。四ブロックを核にした多彩な活動を中心にまとめました。（太）

HOTEL URSA SHIMIZUEN
チャペルでの結婚式
ご婚礼
ご宴会
ご宿泊に
ブライダルフェア　7/5(日)
☆スタープラン　50名様で75万円
最上階のレストランウェディングで
夜景を見ながら
北与野
Hotel アルーサ
清水園
埼京線北与野駅北口前
宿泊予約　048（855）2222
婚礼・宴会予約　048（855）2244